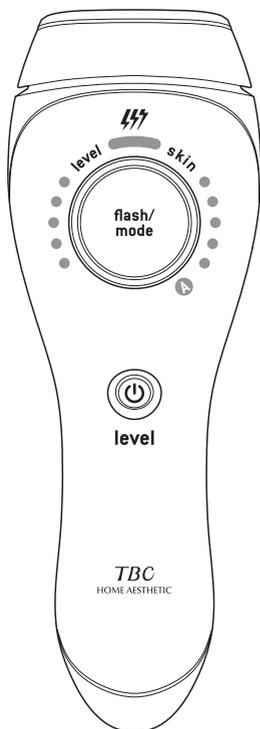




# HIKARI BEAUTY 3 PRO

## ヒカリビューティ 3 PRO

- 家庭用光美容器 -



### もくじ

1	安全上のご注意	1
2	本体と付属品・各部の名称	6
2.1	本体と付属品	6
2.2	各部の名称	7
3	光美容器の基本	10
3.1	HIKARI BEAUTY 3 PROの特長	10
3.2	使用できる部分・使用頻度	13
3.3	準備から使用までの流れ	14
4	使い方	15
4.1	前日の準備	15
4.2	当日の準備	16
4.3	光美容器を使う	18
4.3.1	テスト照射	18
4.3.2	オートシングルモード	21
4.3.3	オート連続モード	24
4.3.4	マニュアルシングルモード	27
4.3.5	マニュアル連続モード	31
4.4	使用の後に	33
5	こんなときは	34
5.1	エラー表示	34
5.2	音について	35
5.3	困ったときは	36
5.4	よくあるご質問	37
6	製品仕様	40
7	保証とアフターサービス	41

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・本製品を正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- ・**ご使用前に必ず「安全上のご注意」(P. 1~5)をお読みください。**
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも確認できる場所に大切に保管してください。
- ・本製品を他の人に譲渡する場合は、この取扱説明書を必ず添付してください。

# 1 安全上のご注意

- 本製品は、ムダ毛を目立たなくさせるためのお手入れを目的とする家庭用光美容器です。その他の目的には使用しないでください。
- 本製品を使用する前には、必ずこの「安全上のご注意」、および取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 「安全上のご注意」には、安全に関する重要な内容を記載しておりますので、必ずお守りください。
- 異常を感じたら、使用をただちに中止して、電源をお切りください。

## 注意区分について

本書では、文章と図記号を用いて安全に関する情報を表示します。安全に関する情報は、人身への危害と財産への損害の程度を、「危険」、「警告」、「注意」に区分して表示します。

 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定されるもの。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されるもの。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりすることが想定されるもの。

※物的損害とは、家屋、家財、および家畜・ペットへの拡大損害のことです。

## 図記号の例

	してはいけないことを示しています。
	しなければならないことを示しています。
	注意しなければならないことを示しています。

# 危険

## 禁忌事項



禁止

- 次の医療用電子機器を使用している場合は、本製品を使用しない  
医療用電子機器が誤作動する原因
- ペースメーカー等体内植込型医療用電子機器
  - 人工心肺等生命維持用医療用電子機器
  - 心電計等の装着型医療用電子機器

# 警告

## 使用者について



禁止

- 次に該当する場合は使用しない  
肌等身体に関わる事故やトラブルの原因
- 光過敏性てんかん等の光過敏症の光に関する疾患がある
  - 4週間以内に強い太陽の光を受けた、または日焼けした
  - 生理中、妊娠中、授乳中 ● 12歳未満 ● 自分で意思表示できない
  - 医師の治療を受けている ● 発熱している ● 酒気帯び ● アレルギー体質
  - 顔面神経痛 ● 眠気をさそう薬を服用している
  - ステロイド等の薬を継続的に使用している ● 敏感肌または肌が弱い
  - 疲労している ● 体調がすぐれない ● 高血圧 ● 皮膚病 ● 悪性腫瘍 ● 内臓疾患
  - 伝染性疾患、感染性疾患 ● 皮膚がん病歴がある ● 血液疾患 ● 急性疾患 ● 白斑
  - 尋常性白斑がある ● アトピー性皮膚炎 ● 皮膚トラブルがある ● 結核性疾患
  - 3ヶ月以内に放射線治療や化学療法を受けたことがある
- 次の部分には使用しない  
肌等身体に関わる事故やトラブルの原因
- 指定以外の部分 ● 眼球、まぶた等目の周辺 ● 頭部および頭髮
  - 刺青(タトゥー)とその周辺 ● ホクロ、シミ、あざのある部分
  - 傷、ケロイドのある部分 ● 皮膚の色が濃い部分
  - 日焼けした肌、または色素が白く抜けている部分 ● 乳首や乳輪、へそ等
  - 唇、口腔内や性器および周辺の粘膜(1・Oライン含む)
  - 皮膚が化膿して炎症を起こしている部分
  - かゆみやほてりのある部分 ● 静脈瘤のある部分
  - 体内に金属等を埋め込んでいる部分 ● 外科手術(美容整形も含む)をした部分
  - 色素が濃く沈着した部分(肝斑を含む)
  - 2週間以内に、サロン等で脱毛コースを受けた部分



必ず  
実施

- 次に該当する場合は医師に相談する
- 自己判断できない
  - 光過敏症等になりやすいお薬(貼り薬、塗り薬含む)等を使用している

## 本体、電源コードについて

 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■電源コードのコード部分を引っ張ったり、ぬれた手で電源プラグを触ったりしない 感電、発火、ショート、断線の原因</li> <li>■電源コードを無理に曲げたり、重い物を乗せたりしない 感電、発火、ショート、断線の原因</li> <li>■アルコール、シンナー、ベンジン、除光液等、引火性がある物の近くで使用しない 感電、ケガ、火災の原因</li> <li>■本製品を改造、分解、修理しない 感電、異常動作によるケガ、発火の原因</li> <li>■過剰な連続使用はしない、業務用には使用しない やけど、ケガの原因 ※業務用に使用した場合は、修理をお受けできません。</li> </ul>
--	--

## 本体について

 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■異臭、異常発熱した場合は使用しない ケガ、発火、破損、故障の原因</li> <li>■本製品の電源を入れても電源ユニット、およびハンドピースの内部ファンが作動しない(作動音が聞こえない、電子音が鳴らない)場合は使用しない ケガ、発火、発煙、故障の原因</li> <li>■水洗いしない 感電、火災、ショート、故障の原因</li> <li>■浴室等の高温多湿の場所で使用・保管しない、水のかかりやすい場所に置かない 感電、火災の原因</li> <li>■ストーブや電熱器具の近くで使用しない ケガ、発熱、発火、故障の原因</li> <li>■子どもの手の届く場所に保管しない ケガ、事故の原因</li> <li>■暗い場所で使用しない ケガの原因</li> </ul>
 <b>必ず実施</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本製品を使用する際は、必ず付属のゴーグルを装着する ケガ、事故の原因</li> <li>■必ずAC100～240 Vで使用する、単独のコンセントで使用する 感電、火災、発火、故障の原因 ※日本国外で使用した場合は無料修理の対象外です。</li> <li>■汚れた場合は、洗剤を使わず乾いたきれいな布でふいた後、保管する 感電、火災、ショート、故障の原因</li> <li>■コード、プラグおよび本製品の損傷、水ぬれにより本製品が正常に作動しない場合は、必ず点検と修理を受ける 感電、ケガ、発火の原因</li> </ul>

## 電源プラグについて

必ず  
実施

- 電源プラグをコンセントから抜いたり差し込んだりする際は、必ず本体の電源スイッチを切る  
火災、感電、発火、故障の原因
- 電源プラグをコンセントから抜いたり差し込んだりする際は、必ずプラグ部分を持ち、電源プラグの金属部に触れないようにする  
感電、発火、ショートの原因
- 電源プラグの部分にホコリや水がついている場合は、乾いたタオルでふく  
感電、発火、ショートの原因

 注意

## お肌について

必ず  
実施

- 必ずハンドピースが肌に密着した状態で照射する  
やけど、肌トラブル、目に障害が生じるおそれ
- 照射する部分は、必ず前日にシェービングする(毛抜きやワックスは使用しない)  
毛が長い状態で使用した場合、やけど、肌トラブルのおそれ
- 照射する部分を洗浄し、水滴をふきとって素肌使用する(制汗剤やローション、クリーム、オイル等は塗らない)  
やけど、肌トラブルのおそれ
- 使用前に必ずテスト照射を行い、照射した部分の肌状態を確認する、照射した部分に異常な熱さを感じたら使用しない、クーリングパックで十分に冷やす  
やけど、肌トラブルのおそれ
- 照射前と照射後は、必ずクーリングパックで冷やす  
十分な冷却をしないと、やけど、肌トラブルのおそれ
- 照射中、強い熱さを感じたら、ハンドピースを肌から離して使用を中止し、肌をクーリングパックで十分に冷やす、電源を切らずに照射口(レンズ部分)が冷めるまで時間をおく  
そのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ
- アクセサリー等の金属類は外す  
ケガのおそれ
- 同じ部分に繰り返し照射しない  
やけど、肌トラブルのおそれ
- 照射直後の照射口には触れない  
やけどのおそれ

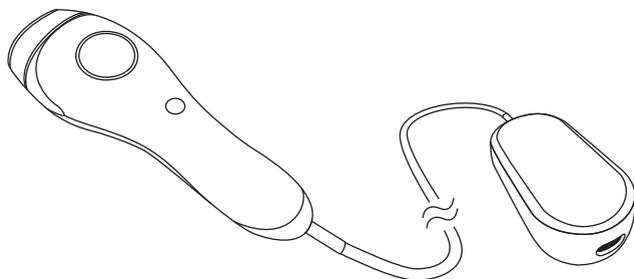
## 本体について

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>■使用前に照射口を確認し、変形、変色、破損等がある場合は使用しない やけど、肌トラブルのおそれ</li><li>■ペットには使用しない ケガのおそれ</li><li>■照射口内のレンズ部分を素手で直接触らない 故障、破損の原因</li><li>■照射口を磁気のある物に近づけない 故障、破損の原因</li><li>■屋外、直射日光の下で使用しない 故障、動作不良の原因</li><li>■アルコール・シンナー・ベンジン・除光液等の溶剤でふかない 表面が損傷する原因</li><li>■高い所に保管しない 落下による故障の原因</li></ul>
 必ず 実施	<ul style="list-style-type: none"><li>■使用後は本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 火災、発火の原因</li></ul>

## 2 本体と付属品・各部の名称

### 2.1 本体と付属品

#### ■本体



#### ■付属品

電源コード



ゴーグル



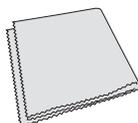
※照射時に装着してください

クーリングパック



※冷凍庫で十分冷やしてから  
ご使用ください

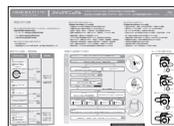
お掃除クロス  
(照射口内レンズ用)



取扱説明書 (保証書つき)

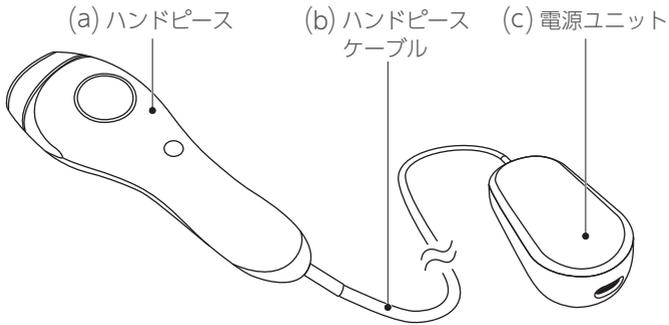


クイックマニュアル



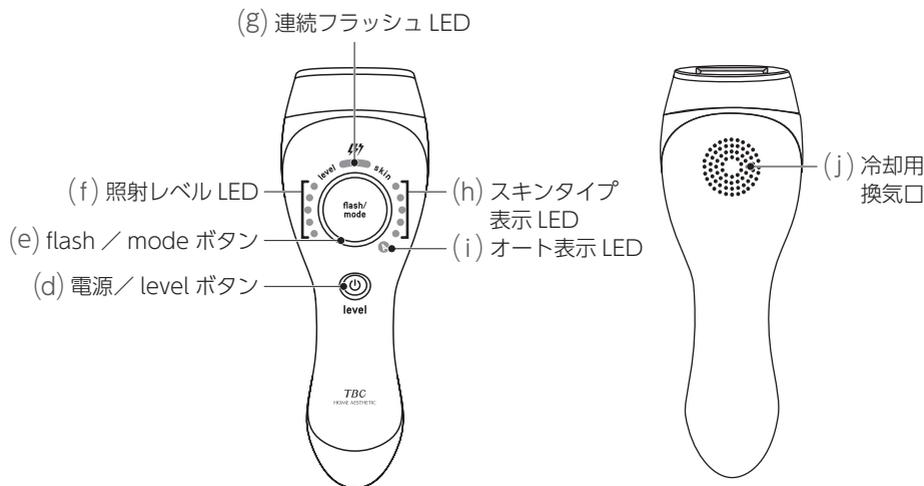
## 2.2 各部の名称

### ■本体



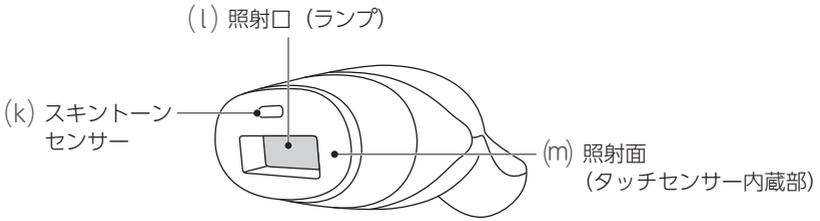
- (a)………… ハンドピース
- (b)………… ハンドピースケーブル
- (c)………… 電源ユニット

## ■ハンドピース (表側、裏側)



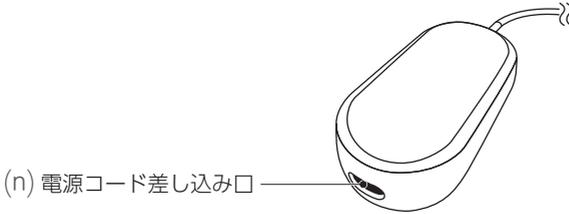
- (d)…………… 電源／levelボタン  
ハンドピースの電源を操作するとき／マニュアルモードで照射レベルを上げるときに使用します。
- (e)…………… flash／modeボタン  
光を照射するとき／モードを切り替えるときに使用します。
- (f)…………… 照射レベルLED  
照射レベルを表示します。
- (g)…………… 連続フラッシュLED  
オート連続モード、またはマニュアル連続モードを選択したときに点灯します。
- (h)…………… スキンタイプ表示LED  
スキントーンセンサーが検知したスキンタイプを表示します。  
電源を入れた直後の3秒間、ランプの寿命を表示します。
- (i)…………… オート表示LED  
電源を入れ、(h)にランプの寿命が表示された後、点灯します。(オートモード)マニュアルモードに切り替えると消灯します。
- (j)…………… 冷却用換気口  
ハンドピース内部を冷却するための換気口です。

## ■ハンドピース (照射面)



- (k)………… スキントーンセンサー  
照射する部分の肌色をチェックして、スキンタイプを検知します。
- (l)………… 照射口 (ランプ)  
光を照射します。
- (m)………… 照射面 (タッチセンサー内蔵部)  
光を照射するとき肌にあてる面です。  
内蔵しているタッチセンサーが正しく肌に密着しているかを確認します。

## ■電源ユニット



- (n)………… 電源コード差し込み口  
電源コードを差し込みます。

## 3 光美容器の基本

### 3.1 HIKARI BEAUTY 3 PROの特長

- Point1 エステティックTBCのコースメソッドに基づいて開発。  
TBCサロンのライト脱毛の実績から、効率的な光の波長を採用。



- Point2 AMP方式(特許技術<sup>※</sup>利用)を採用。  
AMP方式とは…特許技術<sup>※</sup>を利用した、1回のショットで複数回連続照射する方法です。  
※ 特許第5198671号：エネルギーレベル調節が可能なIPL機器

### ■Point3 安全性を考えた2つのセンサー。

#### ●タッチセンサー

肌密着を検知し、照射をコントロール。

○



✕



#### ●スキントーンセンサー

オートモード時、センサーが肌色を検知して、自動的に適切なレベルを設定。  
照射に向かない肌色はランプが点滅して照射できません。

○

スキンタイプ3の場合、照射レベルは2です。



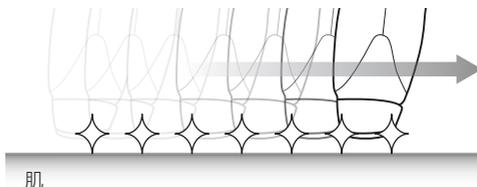
✕

スキンタイプ6の場合、照射できません。



## ■Point4 連続照射機能を搭載。

1つのボタン操作で、最大10ショット連続で照射が可能。  
 広範囲のお手入れにおすすめです。



### ● 選べる4つのモード

#### オート

簡単操作のおすすめモード。スキン  
 トーンセンサーが肌の色を検知しス  
 キンタイプを選別。スキンタイプに  
 合った照射レベルを設定。

##### オートシングルモード

1ショットずつ照射。  
 狭い範囲をお手入れしたいとき。



##### オート連続モード

連続(最大10ショット)照射。  
 広い範囲をお手入れしたいとき。



#### マニュアル

カスタマイズして使用するモード。  
 照射する部分の肌色を確認し、体感  
 に合わせて照射レベルを自身で設定。

##### マニュアルシングルモード

1ショットずつ照射。  
 狭い範囲をお手入れしたいとき。

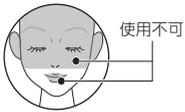


##### マニュアル連続モード

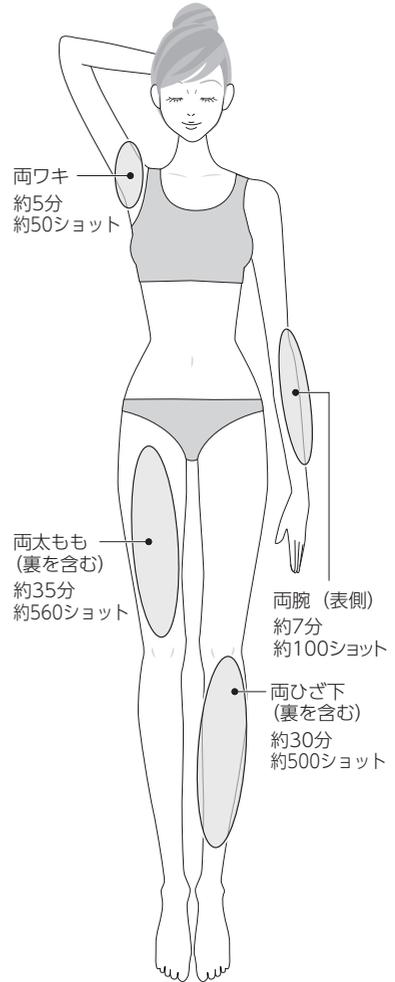
連続(最大10ショット)照射。  
 広い範囲をお手入れしたいとき。



## 3.2 使用できる部分・使用頻度

使用できる部分	おすすめのモード	使用頻度
<b>顔</b> (鼻下から下のみ照射可) ⊘ 唇・口腔内・鼻から上・目の周りや目(眼球)には照射しない ※髪を束ねるなどして使用する 	オートシングルモード P. 21参照 or マニュアルシングルモード P. 27参照	最初の2ヶ月 2週間に1回  3ヶ月目以降 4週間に1回
<b>胸</b> ⊘ 乳首・乳輪には照射しない		
<b>お腹</b> ⊘ へそには照射しない	オート連続モード P. 24参照 or マニュアル連続モード P. 31参照	
<b>腕</b> ※手の指・甲に使用する場合はシングルモードにする		
<b>ひざ下・太もも</b>		
<b>ワキ</b> ⊘ ビキニライン(I・O以外) ⊘ 性器および周辺の粘膜には照射しない ※黒系ではなく白系のショーツを着用して照射する	オートシングルモード P. 21参照 or マニュアルシングルモード P. 27参照	最初の2ヶ月 1週間に1回  3ヶ月目以降 2週間に1回

### ■1回のお手入れ時間・ショット数の目安



注意

■美容器によるお手入れは最短でも1週間以上、間隔を空けて実施するやけど、肌トラブルのおそれ

### 3.3 準備から使用までの流れ

準備

前日の準備 ●シェービング ●クーリングパックを冷凍庫に入れる (P. 15参照)

当日の準備 ●肌の洗浄 ●照射口のお手入れ ●機器の準備 (P. 16~17参照)

使用中

初めて使うとき、  
前回の使用から6ヶ月以上経過しているとき

2回目以降のとき

●ゴーグルの装着

オートシングルモードでテスト照射 (P. 18参照)

#### 確認事項

3分以上空けて、赤み・腫れ・水疱・  
痛み・ひりつきがないか確認 (P. 20参照)

ない場合

ある場合

※使用中止※

●ゴーグルの装着

#### モード選択

##### 【オート】

スキントーンセンサーが肌の色を検知し、  
肌の色に合った照射レベルを自動で設定

##### 【マニュアル】

肌色や体感に合わせて照射レベルを自身  
で設定

オートシングル  
モード

オート連続モード

マニュアルシングル  
モード

マニュアル連続  
モード

狭い範囲  
(P. 21参照)

広い範囲  
(P. 24参照)

狭い範囲  
(P. 27参照)

広い範囲  
(P. 31参照)

(顔・胸・ワキ・  
ビキニライン)

(お腹・腕・  
ひざ下・太もも)

(顔・胸・ワキ・  
ビキニライン)

(お腹・腕・  
ひざ下・太もも)

照射する

- タオルを巻いたクーリングパックで冷やす ●照射
- 照射した部分をクーリングパックで冷やす

使用后

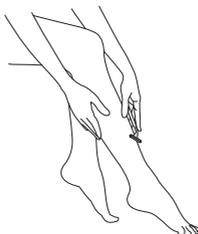
●電源を切る ●電源コードを抜く ●肌の保湿 ●レンズのお手入れ (P. 33参照)

# 4 使い方

## 4.1 前日の準備

### 1 美容器でお手入れする部分をシェービングする

- ・肌の表面の余分な体毛を、電気シェーバー、カミソリ等の一般市販品でシェービングしてください。



注意

- 毛が長い状態で使用しない  
やけど、肌トラブルのおそれ
- ワックス、毛抜き、その他市販の脱毛用機器で脱毛しない  
やけど、肌トラブルのおそれ

### 2 付属のクーリングパックを冷凍庫に入れる

- ・クーリングパックは十分に冷やしてください。
- ・お肌を冷やすのに適した仕様になっています。

## 4.2 当日の準備

### 1 肌を洗浄する

- ・美容器でお手入れする部分を洗浄し、乾いたタオル等で水分をふきとってください。
- ・メイクをされている場合は、クレンジング・洗顔を行ってください。
- ・保湿クリームやUVクリーム等を使用している場合は、せっけん等でしっかり洗浄してください。

### 2 照射口のお手入れをする

- ・ハンドピースの照射口を確認し、レンズ部分にホコリや毛等の汚れがついていないか確認してください。
- ・レンズ部分が汚れている場合は、電源を切った状態で、付属のお掃除クロスで汚れをふきとってください。
- ・お掃除クロスで落ちない汚れは、水を湿らせた綿棒(市販品)でふきとってください。

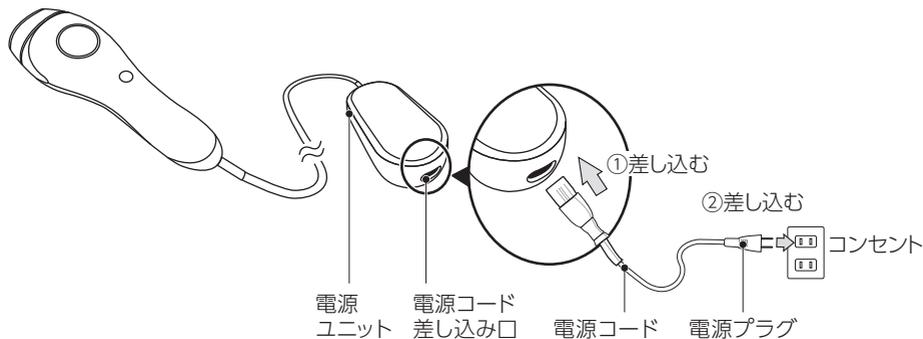


注意

- 照射口(ランプ)を、アルコール、シンナー、ベンジン、除光液等の溶剤でふかない  
ランプの表面やレンズ部分に損傷を与える原因
- 照射口(ランプ)のレンズ部分を直接触らない  
使用直後は熱くなっている場合があります、やけどの原因

### 3 電源コードを差し込む

- ①電源コードを、電源ユニットの電源コード差し込み口に差し込む
- ②電源プラグをコンセントに差し込む  
・「ピ」という音が鳴ります。



注意

- 電源コードを差し込む際は、しっかり奥まで差し込む  
故障や動作不良の原因

## 4 冷凍庫から付属のクーリングパックを取り出して、タオル等を巻く



- 付属のクーリングパック以外は使用しない  
低温やけどの原因

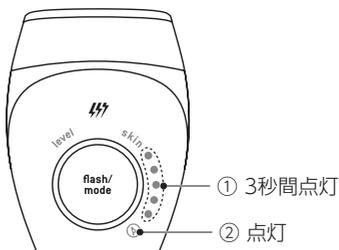
## 5 付属のゴーグルを装着する

- ・目を光から保護するために装着します。



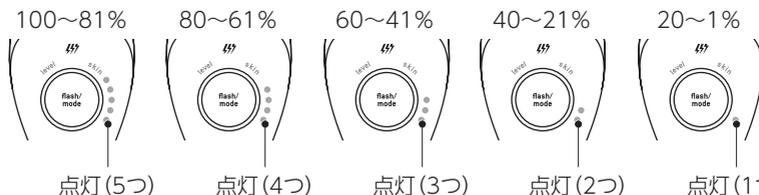
## 6 ハンドピースの電源/levelボタン ① を2秒以上長く押す

- ・電源が入り、「ピー」という音が鳴ります。
- ・スキントイプ表示LEDが3秒間点灯し、ランプの寿命をお知らせします。(①)
- ・3秒後、オート表示LEDが点灯します。(②)



note

### ランプ寿命表示



- 3秒経過した後、ランプの寿命を確認したいときは、電源/levelボタンを長く押し、再度電源を入れてください。
- ランプが寿命に達した場合(照射回数約300,000ショット)は、電源を入れた直後にエラーNo.3が表示されます。(P. 34参照)  
製品を廃棄する場合は、各自自治体の分別ルールに従ってください。

## 4.3 光美容器を使う

### 4.3.1 テスト照射

初めて光美容器を使うときは、必ずテスト照射を実施してください。  
2回目以降の場合で、前回の使用から6ヶ月以上経過しているときも、テスト照射を実施してください。

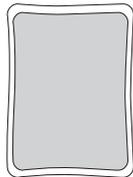


注意

- テスト照射前に肌の状態や体調を確認する、異常があればテスト照射を中止するやけど、肌トラブルのおそれ

#### 1 テスト照射する部分を、付属のクーリングパックで冷やす

- ・タオル等を巻いた状態で肌にあててください。
- ・外気温や体温等の条件により、冷やす時間は異なります。
- ・クーリングパックをあてた部分を手で触れて、肌が冷えていることが確認できるまで冷やしてください。



クーリングパック



使い方



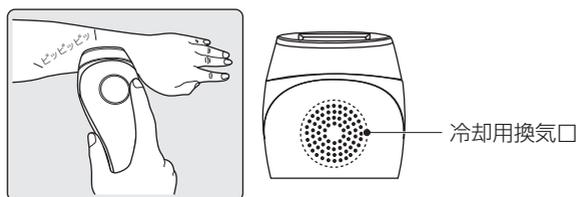
注意

- クーリングパックを取り扱う際は、次の注意事項を守る
  - 美容器によるお手入れ以外の目的に使用しない
  - 冷凍庫から取り出し、じかに肌にあてない  
クーリングパックが肌に張りついて取れなくなるおそれ
  - 肌を冷やし過ぎない  
凍傷のおそれ
  - クーリングパックの中身を口に入れない(成分：水、ポリアクリル酸ナトリウム、プロピレン・グリコール)
  - クーリングパックに鋭利な物や硬い物をあてない、衝撃を与えない
  - 万一、クーリングパックが破れて中身が漏れ、手や身体についた場合は、まず、布等でふきとり、その後、水で洗い流す
  - クーリングパックは、乳幼児の手の届かない所に、直射日光を避けて保管する
  - 30℃以下、80℃以上しない
  - 廃棄する場合は、各自治体の廃棄方法に従う

## 2 テスト照射する部分に、ハンドピースの照射面を肌に密着させる

### ・持ち方例

※持ち方は一例です。持ちにくい場合は裏側 (flash/modeボタンの反対側) にある換気口をふさがないように注意し、持ちかえてもかまいません。



- ・正しく密着した場合、「ピッピッピッ」という音が鳴り、照射できる状態になります。
- ・音が鳴らない場合は、ハンドピースを肌から離して、再度、肌に密着させてください。
- ・スキントーンセンサーがスキンタイプ (肌の色) を検知し、自動的にスキンタイプに適した照射レベルを設定します。

使い方



- ・スキンタイプが「6」 (照射不可) と検知された場合、「ピピピピピピ」という警告音が鳴り、スキンタイプ表示LEDがすべて点滅します。警告中は、flash/modeボタンを押しても、光は照射されません。



注意

■ハンドピースの照射口を、肌に強く押しあてない  
ケガ、破損のおそれ

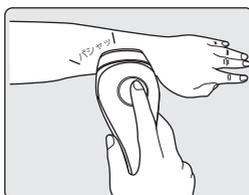
例) 照射不可の場合

スキンタイプ表示LEDがすべて点滅します。flash/modeボタンを押しても光は照射されません。



## 3 ハンドピースのflash/modeボタン を押し、照射が完了したら、ハンドピースを肌から離す。

- ・1回照射されます。
- ・照射が終わるまで、ハンドピースの照射面を肌に密着させたままにしてください。





- 本製品を使用する際は、必ず付属のゴーグルを装着する  
ケガ、事故の原因
- 照射時は、照射口の光を直視しない  
失明のおそれ
- 周囲に人やペットがいない場所で使用する  
ケガ、事故の原因
- ホクロ・シミ・あざのある部分は避ける  
やけどのおそれ

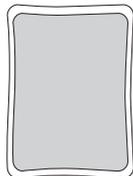
## 4 3分以上空けてテスト照射した部分の肌を確認する

- ・テスト照射した部分や、その周辺に次の症状がないか、確認してください。当てはまる項目に✓を入れてください。

✓	項目
	赤みがある
	腫れている
	水疱がある
	痛みを感じる
	ひりつきを感じる

- ・1つでも当てはまる項目があれば、本製品の使用をただちに中止してください。
- ・いずれの項目にも当てはまらない場合は、本製品をご使用できます。

## 5 付属のクーリングパックで冷やす



クーリングパック



## 4.3.2 オートシングルモード



注意

- 美容器でお手入れする際は、必ず、前日の準備 (P. 15参照) と、当日の準備 (P. 16参照) を実施する
- 初めて光美容器を使う場合、または2回目以降の場合で前回の使用から6ヶ月以上経過しているときは、テスト照射を実施する (P. 18参照)

### 1 照射する部分を、付属のクーリングパックで冷やす

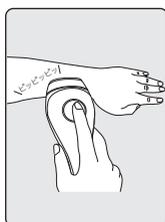
・クーリングパックを取り扱う際の注意事項を必ず守ってください。(P. 18参照)

### 2 照射する部分に、ハンドピースの照射面を肌に密着させる

・ハンドピースを肌に密着させる際の注意事項を必ず守ってください。(P. 19参照)

### ■肌選別AI機能 (オートシングルモード・オート連続モード)

スキントーンセンサーがスキントイプ (肌の色) を検知し、自動的にスキントイプに適した照射レベルを設定します。



使い方

<b>スキントイプ の分類</b>  <small>※フィッツパトリック (Fitz patrick) のスキントイプ</small>						
<b>日光を浴びた 際の皮膚反応</b>	常に赤くなり、肌色が濃くならない。	常に赤くなり、その後少し肌色が濃くなる。	赤くなり、肌色が濃くなる。	あまり赤くならず、すぐに肌色が濃くなる。	めったに赤くならず、肌色が非常に濃く黒くなる。	赤くならず、肌色が非常に濃く黒くなる。
<b>照射レベル</b>	レベル3	レベル3	レベル2	レベル2	レベル1	照射不可 点滅

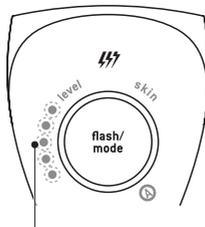
### 3 ハンドピースのflash/modeボタン を押す 照射が完了したら、ハンドピースを肌から離す



- 本製品を使用する際は、必ず付属のゴーグルを装着する  
ケガ、事故の原因
- 照射時は、照射口の光を直視しない  
失明のおそれ
- ホクロ・シミ・あざのある部分は避ける  
やけどのおそれ
- 周囲に人やペットがいない場所で使用する  
ケガ、事故の原因

- ・照射が完了すると「ピー」という音が鳴り、自動的に充電が開始されます。
- ・充電中は照射レベルLEDがすべて点滅します。

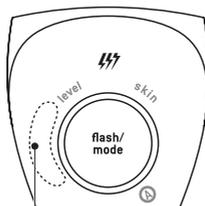
充電中



点滅

- ・充電が完了すると、音が止まり、照射レベルLEDがすべて消灯します。

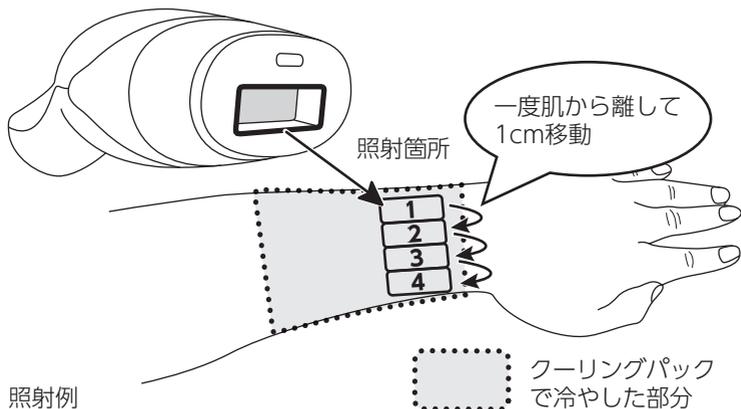
充電完了



消灯

## 4 続けて美容器でお手入れしたい部分に、ハンドピースの照射面を肌に密着させ、ハンドピースのflash/modeボタン を押す

- ・一度照射した部分に重ならないようにしてください。
- ・事前にクーリングパックで冷やした部分に使用してください。それ以外の部分には使用しないでください。



照射例



注意

- 一度照射した部分を何度も繰り返し照射しないやけどのおそれ

note

- 照射時に熱を感じる時は、こまめに冷やしてください。
- ムラにならないよう、できるだけ隙間なく照射してください。

## 5 照射した部分を、付属のクーリングパックで冷やす

- ・クーリングパックで冷やした部分を照射したら、照射した部分を再度、クーリングパックで冷やします。

## 6 手順1～5を繰り返す

- ・次に照射する部分を冷やす→照射する→照射した部分を冷やす→次に照射する部分を冷やす→照射する・・・を繰り返してください。



注意

- 美容器でお手入れした部分に、強い痛みを感じる、赤みが引かない場合は、使用をただちに中止して、皮膚科に相談する
- 連続して使用すると、照射口が熱くなることがあるため、照射中、強い熱さを感じたら、ハンドピースを肌から離して使用を中止し、肌をクーリングパックで十分に冷やし、電源を切らずに照射口(レンズ部分)が冷めるまで時間をおくそのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ
- 照射口(レンズ部分)が冷めたら照射口を確認する、汚れていたら、電源スイッチを切り、お手入れを行ってから再度使用する

### 4.3.3 オート連続モード

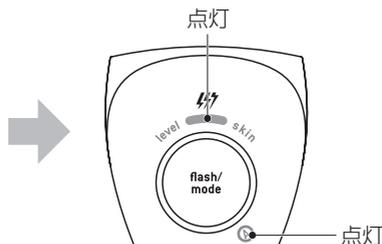


注意

- 美容器でお手入れする際は、必ず、前日の準備 (P. 15参照) と、当日の準備 (P. 16参照) を実施する
- 初めて光美容器を使う場合、または2回目以降の場合で前回の使用から6ヶ月経過しているときは、テスト照射を実施する (P. 18参照)
- 連続照射を実施する際は、連続照射に適した部分であることを確認する (P. 13参照)

#### 1 ハンドピースのflash/modeボタン を、2秒以上長く押す

- ・オート連続モードに切り替わり、「ピッピッ」という音が鳴ります。
- ・オート表示LEDに加え、連続フラッシュLEDが点灯します。



note

- ハンドピースのflash/modeボタンを2秒以上長押しするたびに、モードが切り替わります。

#### 2 照射する部分を、付属のクーリングパックで冷やす

- ・クーリングパックを取り扱う際の注意事項を必ず守ってください。(P. 18参照)

#### 3 照射する部分に、ハンドピースの照射面を肌に密着させる

- ・ハンドピースを肌に密着させる際の注意事項を必ず守ってください。(P. 19参照)

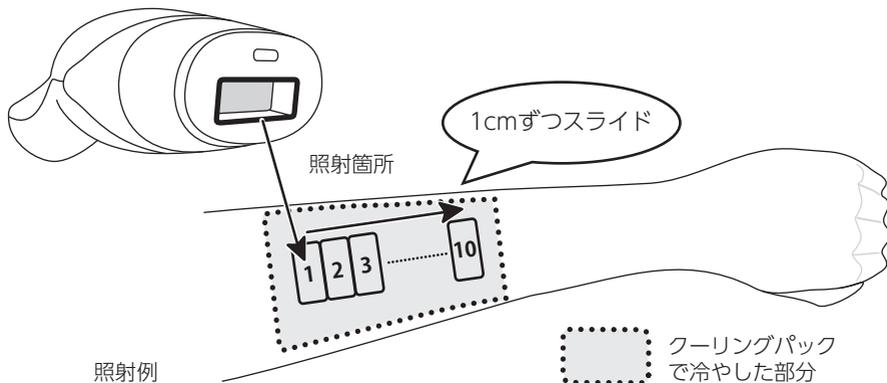
使い方

## 4 ハンドピースのflash/modeボタンを、押したままスライドさせる



- 本製品を使用する際は、必ず付属のゴーグルを装着する  
ケガ、事故の原因
- 照射時は、照射口の光を直視しない  
失明のおそれ
- ホクロ・シミ・あざのある部分は避ける  
やけどのおそれ
- 周囲に人やペットがいない場所で使用する  
ケガ、事故の原因

- ・照射が完了したら、「ピッ」という音が鳴ります。音が聞こえたら、ハンドピースをスライドさせ、次の照射部分へ移動してください。連続で照射できます。その間、ボタンを押し続けてください。
- ・一度照射した部分に重ならないように使用してください。
- ・事前にクーリングパックで冷やした部分に使用してください。それ以外の部分には使用しないでください。
- ・最大10回まで連続して照射できます。



使い方



- 一度照射した部分を何度も繰り返し照射しない  
やけどのおそれ

note

- 10回照射した後は、ハンドピースを肌から離してください。自動的に充電が開始され、「ピー」という音が鳴ります。このとき、照射レベルLEDがすべて点滅します。充電が完了すると、音が止まり、照射レベルLEDがすべて消灯し、再度10回の連続照射ができます。
- 連続照射の途中で、ハンドピースを肌から離してしまった場合、すぐに肌にあてると、再開できます。一定時間離すと、自動的に充電が開始され、再度10回の連続照射ができます。

## 5 照射した部分を、クーリングパックで冷やす

- ・クーリングパックで冷やした部分を照射したら、照射した部分を再度、クーリングパックで冷やします。

## 6 手順2～5を繰り返す

- ・次に照射する部分を冷やす→照射する→照射した部分を冷やす→次に照射する部分を冷やす→照射する・・・を繰り返してください。



注意

- 美容器でお手入れした部分に、強い痛みを感じる、赤みが引かない場合は、使用をただちに中止して、皮膚科に相談する
- 連続して使用すると、照射口が熱くなることがあるため、照射中、強い熱さを感じたら、ハンドピースを肌から離して使用を中止し、肌をクーリングパックで十分に冷やし、電源を切らずに照射口（レンズ部分）が冷めるまで時間をおく  
そのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ
- 照射口（レンズ部分）が冷めたら照射口を確認する、汚れていたら、電源スイッチを切り、お手入れを行ってから再度使用する

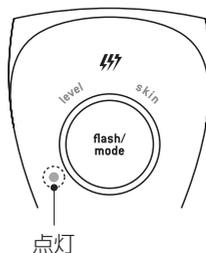
## 4.3.4 マニュアルシングルモード



- 美容器でお手入れする際は、必ず、前日の準備 (P. 15参照) と、当日の準備 (P. 16参照) を実施する
- 初めて光美容器を使う場合、または2回目以降の場合で前回の使用から6ヶ月以上経過しているときは、テスト照射を実施し (P. 18参照)、オートシングルモードを使用する (P. 21参照)

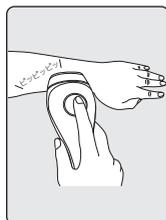
### 1 ハンドピースのflash/modeボタン を、2秒以上長く押す (2回押す)

- ・1回押すとオート連続モードに、2回押すとマニュアルシングルモードに切り替わります。
- ・「ピッピッ」という音が鳴ります。
- ・連続フラッシュLEDとオート表示LEDが消灯し、照射レベルLED「1」が点灯します。



## 2 ハンドピースの電源/levelボタン ④ を1秒以内で短く押す

- ・照射レベルが切り替わります。
- ・電源/levelボタンを押すたびに、最も低いレベルの1から、最も高いレベルの5まで、5段階で照射レベルを切り替えることができます。照射レベルが5に設定された状態で電源/levelボタンを押すと、照射レベルが1に切り替わります。
- ・スキントイプ(肌の色)別の、照射レベルの設定目安は次のとおりです。



<b>スキントイプ の分類</b>  <small>※フィッツパトリック (Fitz patrick) のスキントイプ</small>						
	タイプ 1	タイプ 2	タイプ 3	タイプ 4	タイプ 5	タイプ 6
<b>日光を浴びた 際の皮膚反応</b>	常に赤くなり、肌色が濃くならない。	常に赤くなり、その後少し肌色が濃くなる。	赤くなり、肌色が濃くなる。	あまり赤くならず、すぐに肌色が濃くなる。	めったに赤くならず、肌色が非常に濃く黒くなる。	赤くならず、肌色が非常に濃く黒くなる。
<b>照射レベルの 設定目安</b>	1~5	1~5	1~4	1~3	1~2	照射不可

使い方



注意

- はじめは、照射レベル1を選択して美容器でお手入れする
- 照射レベルを上げたときに熱く感じたら、レベルを下げる  
そのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ

## 3 照射する部分を、付属のクーリングパックで冷やす

- ・クーリングパックを取り扱う際の注意事項を必ず守ってください。(P. 18参照)

## 4 照射する部分に、ハンドピースの照射面を肌に密着させる

- ・ハンドピースを肌に密着させる際の注意事項を必ず守ってください。(P. 19参照)

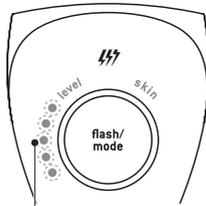
## 5 ハンドピースのflash/modeボタン を押す 照射が完了したら、ハンドピースを肌から離す



- 本製品を使用する際は、必ず付属のゴーグルを装着する  
ケガ、事故の原因
- 照射時は、照射口の光を直視しない  
失明のおそれ
- ホクロ・シミ・あざのある部分は避ける  
やけどのおそれ
- 周囲に人やペットがいない場所で使用する  
ケガ、事故の原因

- ・照射が完了すると、「ピー」という音が鳴り、自動的に充電が開始されます。
- ・充電中は照射レベルLEDがすべて点滅します。

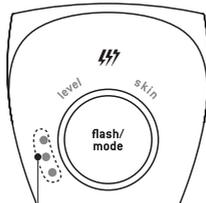
充電中



点滅

- ・充電が完了すると、音が止まり、設定した照射レベルLEDが再点灯します。

充電完了



点灯

## 6 続けて美容器でお手入れしたい部分に、ハンドピースの照射面を肌 に密着させ、ハンドピースのflash/modeボタン を、1秒以内で 短く押す

- ・続けて美容器でお手入れする際の注意事項を必ず守ってください。(P. 23参照)

## 7 照射した部分を、クーリングパックで冷やす

- ・クーリングパックで冷やした部分を照射したら、照射した部分を再度、クーリングパックで冷やします。

## 8 手順3～7を繰り返す

・次に照射する部分を冷やす→照射する→照射した部分を冷やす→次に照射する部分を冷やす→照射する・・・、を繰り返してください。



注意

- 美容器でお手入れした部分に、強い痛みを感じる、赤みが引かない場合は、使用をただちに中止して、皮膚科に相談する
- 連続して使用すると、照射口が熱くなることがあるため、照射中、強い熱さを感じたら、ハンドピースを肌から離して使用を中止し、肌をクーリングパックで十分に冷やし、電源を切らずに照射口（レンズ部分）が冷めるまで時間をおく  
そのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ
- 照射口（レンズ部分）が冷めたら照射口を確認する、汚れていたら、電源スイッチを切り、お手入れを行ってから再度使用する

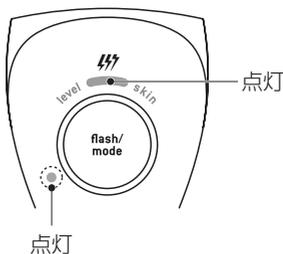
## 4.3.5 マニュアル連続モード



- 美容器でお手入れする際は、必ず、前日の準備 (P. 15参照) と、当日の準備 (P. 16参照) を実施する
- 初めて光美容器を使う場合、または2回目以降の場合で前回の使用から6ヶ月以上経過しているときは、テスト照射を実施し (P. 18参照)、オートシングルモードを使用する (P. 21参照)
- 連続照射を実施する際は、連続照射に適した部分であることを確認する (P. 13参照)

### 1 ハンドピースのflash/modeボタン を、2秒以上長く押す (3回押す)

- ・1回押すとオート連続モードに、2回押すとマニュアルシングルモードに、3回押すとマニュアル連続モードに切り替わります。
- ・「ピッピッ」という音が鳴ります。
- ・連続フラッシュLEDと、照射レベルLED「1」が共に点灯します。



### 2 ハンドピースの電源/levelボタン を1秒以内で短く押し、照射レベルを設定する

- ・照射レベルを設定する際の注意事項を必ず守ってください。 (P. 28参照)

### 3 照射する部分を、付属のクーリングパックで冷やす

- ・クーリングパックを取り扱う際の注意事項を必ず守ってください。 (P. 18参照)

### 4 照射する部分に、ハンドピースの照射面を肌に密着させる

- ・ハンドピースを肌に密着させる際の注意事項を必ず守ってください。 (P. 19参照)

## 5 ハンドピースのflash/modeボタンを押したまま、スライドさせる



- 本製品を使用する際は、必ず付属のゴーグルを装着する  
ケガ、事故の原因
- 照射時は、照射口の光を直視しない  
失明のおそれ
- ホクロ・シミ・あざのある部分に照射しない  
やけどのおそれ
- 周囲に人やペットがいない場所で使用する  
ケガ、事故の原因

・連続照射の際の注意事項を必ず守ってください。(P. 25参照)

## 6 照射した部分を、クーリングパックで冷やす

・クーリングパックで冷やした部分をすべて照射したら、照射した部分を再度、クーリングパックで冷やします。

## 7 手順3～6を繰り返す

・次に照射する部分を冷やす→照射する→照射した部分を冷やす→次に照射する部分を冷やす→照射する・・・を繰り返してください。



- 美容器でお手入れした部分に、強い痛みを感じる、赤みが引かない場合は、使用をただちに中止して、皮膚科に相談する
- 連続して使用すると、照射口が熱くなることがあるため、照射中、強い熱さを感じたら、ハンドピースを肌から離して使用を中止し、肌をクーリングパックで十分に冷やし、電源を切らずに照射口(レンズ部分)が冷めるまで時間をおく  
そのまま使用すると、やけど、肌トラブルのおそれ
- 照射口(レンズ部分)が冷めたら照射口を確認する、汚れていたら、電源スイッチを切り、お手入れを行ってから再度使用する

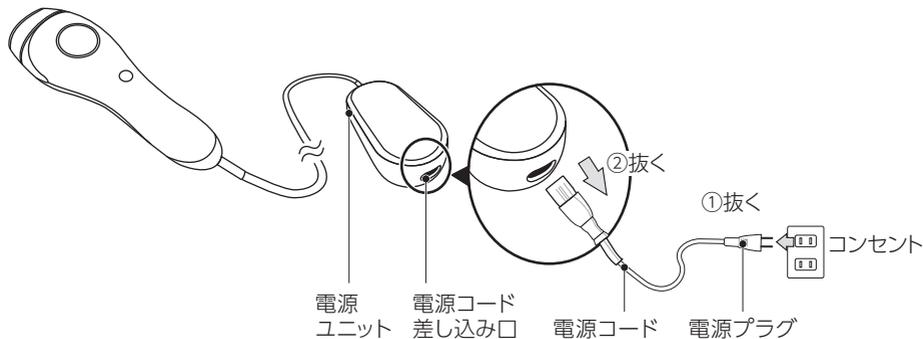
## 4.4 使用の後に

### 1 ハンドピースの電源/levelボタン ④ を2秒以上長く押す

- ・電源が切れて、LEDが消灯します。
- ・ゴーグルを外します。

### 2 電源コードを抜く

- ①電源プラグをコンセントから抜く
- ②電源コードを、電源ユニットの電源コード差し込み口から抜く



### 3 化粧水やクリームで肌を保湿する



注意

- 化粧水やクリームを塗った肌に、再び光を照射しない
- 美容器によるお手入れ後24時間以内は、肌を清潔にし刺激を与えない、入浴やサウナ等は控える
- 美容器によるお手入れ後48時間以内は、塩素処理をしたプールや温泉は控える
- 美容器によるお手入れ後最低2週間は、直射日光を浴びない、日焼けを予防する
- 美容器によるお手入れ後、野外活動を行う場合は、日焼け止めクリームを2週間以上使用する (SPF30、PA++以上)

### 4 レンズをお手入れする

- ・美容器によるお手入れの後、照射口(レンズ部分)が冷めたら、照射口の汚れがないか確認してください。
- ・使用後、付属のお掃除クロスで汚れをふきとってください。
- ・お掃除クロスで落ちない汚れは、水で湿らせた綿棒(市販品)でふきとってください。



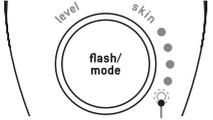
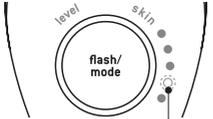
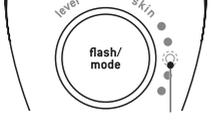
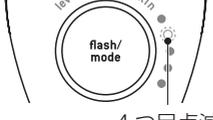
注意

- レンズをお手入れする前に、必ず電源を切る  
やけどのおそれ
- 照射口(レンズ部分)が冷めてからレンズをお手入れする  
やけどのおそれ
- 水洗いしない  
感電、火災、ショート、故障の原因

# 5 こんなときは

## 5.1 エラー表示

本製品は、次の方法でエラーが発生したことをお知らせします。エラー表示を確認したら、本製品の電源を切り、エラー内容をご確認の上、処置方法に従って対応してください。お問い合わせの際は、エラーNo.をお知らせください。

エラー表示	エラー内容	処置方法	エラーNo.
スキンタイプ表示 LEDがすべて点灯し「1」のみ点滅、 警告音が鳴る  1つ目点滅	ファンに不具合が発生しているおそれがあります。	お買い上げの販売店へお問い合わせください。	1
スキンタイプ表示 LEDがすべて点灯し「2」のみ点滅、 警告音が鳴る  2つ目点滅	本体内部が高温になっています。	電源を切り、1時間ほど使用を中止してください。その後、再度電源を入れて同じエラーが表示されるか確認してください。	2
スキンタイプ表示 LEDがすべて点灯し「3」のみ点滅、 警告音が鳴る  3つ目点滅	ランプの寿命です。	製品寿命のため、自治体の分別ルールに従って、廃棄してください。	3
スキンタイプ表示 LEDがすべて点灯し「4」のみ点滅、 警告音が鳴る  4つ目点滅	メモリーエラーです。	お買い上げの販売店へお問い合わせください。	4

## 5.2 音について

音の種類	お知らせ内容
ピ (短い単音)	①電源コードが差し込まれたことをお知らせ。 ②電源/levelボタンが押されたことをお知らせ。 ③連続照射時、移動するタイミングをお知らせ。
ピー (長い単音)	充電中のお知らせ。
ピッピッピッ (ゆっくりな断続音)	照射できることをお知らせ。
<b>警告音</b> ピピピピピピピ… (早い断続音)	スキンタイプ6を検知し照射できないことをお知らせ。
ピッピッ (短い単音)	モードが切り替わったことをお知らせ。

## 5.3 困ったときは

本製品を使用中、次のような症状でお困りの場合は、考えられる原因をご確認の上、処置方法に従って対応してください。

症状	考えられる原因	処置方法
作動しない	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていない。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。(P. 16参照)
	電源コードが電源ユニットの電源コード差し込み口にしっかり差し込まれていない。	電源コードをしっかり差し込んでください。(P. 16参照)
照射できない	ハンドピースの照射面が肌に密着していない。(誤照射防止用のセンサーが作動している)	ハンドピースの照射面をしっかり肌に密着させてください。(P. 19参照)
	照射後、ハンドピースを肌にあてたままにしている。(シングルモード時)	シングルモードの場合、1回照射するごとに、ハンドピースの照射面を肌から離してください。(P. 22参照)
	肌色がスキンタイプ6に該当している。	安全のため、照射できなくなっています。スキンタイプ6以外の部分でご使用ください。
照射レベルを設定できない	オートシングル、またはオート連続モードになっている。	オートモードは、照射レベルが自動的に設定されます。マニュアルモードに切り替えてください。(P. 27参照)
連続照射できない	flash/modeボタンから指が離れてしまっている。	flash/modeボタンを押したまま、スライドさせてください。
	一定時間肌から離してしまっている。	スライドさせるように素早く次の場所に移動してください。
	連続フラッシュLEDが消灯している。	オート連続モードまたはマニュアル連続モードに切り替えてください。(P. 24または31参照)
	肌色がスキンタイプ6に該当している。	安全のため、照射できなくなっています。スキンタイプ6以外の部分でご使用ください。

## 5.4 よくあるご質問

Q	A
顔に使用できますか？	唇、口腔内を除く鼻下から下に使用できます。それ以外の部分には使用しないでください。 絶対に目の周りや唇等には使用しないでください。 また、男性のひげ等、太い毛に使用する場合、期待する効果が得られない場合があります。
へそまわりに使用できますか？	へそまわりには使用できます。へそ内部に直接照射しないでください。
ホクロやあざの部分はどうしたらよいですか？	ホクロやあざは避けて照射してください。ホクロやあざが多く気になる場合は、白いシールを貼り、シール部を避けて照射してください。 ※白いシールは同梱していません。
何歳から使用できますか？	親権者同意のもと、12歳からご使用できます。
毎日使用できますか？	同じ部分への使用は最短でも1週間以上、間隔を空けてください。 (P. 13参照)
毛はなくなりますか？	ご使用方法を確認いただき、継続的にご使用いただくことで、ムダ毛が目立たなくなります。
効果がでないのですが？	短期間のご使用では効果は期待できません。ご使用のタイミングやご使用方法を確認いただき、継続的にご使用ください。 また、オートモードでご使用の場合は、マニュアルモードでご使用いただくことをおすすめします。それでも効果がでないと感じる場合は同じ部分を再度照射してください。
白髪やうぶ毛にも効果はありますか？	色素の薄い白髪や、うぶ毛への効果はほとんどありません。
照射中、熱く感じるのですが？	感じ方には個人差がありますが、シェービングが不十分な場合は熱く感じやすくなります。シェービングをきちんとしてから照射してください。 また、ホコリや毛が肌の表面にないか確認してください。それでも熱く感じる場合は、付属のクーリングパックでこまめに冷やしてください。
ハンドピースが熱く感じるのですが？	連続照射した場合、熱くなることがあります。電源スイッチを切らずに、ハンドピースが冷めるまで時間をおいてください。
照射口(レンズ部分)が曇ったり、黒い物が付着したりしているのですが？	電源を切ってから、照射口(レンズ部分)をお掃除クロスでふきとってください。汚れが落ちない場合は、水で湿らせた綿棒(市販品)でふきとってください。 ※使用直後は、レンズ部分が熱くなっているので、やけどをしないように注意してください。

Q	A
照射した後、焦げた匂いがあるのですが？	照射口のレンズ部分にホコリや毛が付着していませんか？電源を切ってから、付属のクロスでふきとってください。また、照射する部分の毛が伸びている場合は、シェービングしてください。 ※使用直後は、レンズ部分が熱くなっているの、やけどをしないように注意してください。
照射した部分が赤くなったのですが？	体調や体質によって、一時的に赤みがでる場合があります。その場合は、付属のクーリングパックでよく冷やしてください。皮膚の反応が続く場合は、皮膚科医の診察を受けてください。
使用中、光がまぶしく感じるのですが？	ゴーグルを装着していますか？必ず付属のゴーグルを装着してください。また、ハンドピースの照射面をしっかりと肌に密着させてください。
エステサロンや美容皮膚科等で脱毛（電気、光、家庭用を含む）や、フェイシャル、ボディーコースを受けている（予定がある）のですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ部分の脱毛コースを受けている（受ける予定がある）場合は、コース前後2週間以上空けてからご使用ください。</li> <li>・同じ部分のフェイシャル、ボディーコースを受けている（受ける予定がある）場合は、コース前後1週間以上空けてからご使用ください。</li> </ul> ※ご使用前には、必ずお肌の状態を確認してください。
海外で使用できますか？	AC100～240 Vの国／地域でご使用できます。（保証規定にある無料修理は日本国内のみ） 本製品はAプラグです。それ以外の場合はプラグ変換アダプターをご使用ください。※付属品ではありません。

■記録表 (ご使用メモとしてお使いください)

[記録

] [記録

]

No.	日付	部分	レベル
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

No.	日付	部分	レベル
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

# 6 製品仕様

## ■HIKARI BEAUTY 3 PRO

定格電源電圧	AC100 - 240 V 50/60 Hz
消費電力	160 W (max.)
製品サイズ	ハンドピース：約 W70 × D50 × H190 (mm) 電源ユニット：約 W130 × D65 × H49 (mm)
製品質量	約420 g (ハンドピース + 電源ユニット)
光源	キセノンランプ
照射サイズ	10 mm × 30 mm (3.0 cm <sup>2</sup> )
ランプ寿命	照射レベル1：300,000ショット
動作条件	温度：5～35℃ 湿度：30～80%RH
保管条件	温度：-20～80℃ 湿度：0～95%RH

※本製品の性能等を改善するための設計、仕様、付属品は、予告なく変更される場合があります。

●本製品は、日本国内用に設計・販売しております。

電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理やアフターサービスは対象外です。

●本製品は、屋内専用です。

●取扱説明書の内容について

本書は製品開発にさきがけて印刷しています。性能や操作性向上のため、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は、製品自体の仕様が優先されます。

愛情点検 ●長年ご利用の製品の点検を！	
	<p>こんな状態はありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源を入れ操作しても作動しない。</li> <li>●本体が異常に熱い、焦げ臭い。</li> <li>●異常な音がる。</li> <li>●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。</li> <li>●その他の異常がある。</li> </ul>
▶	<p><b>ご使用中止 !!</b></p> <p>故障、事故防止のため電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。</p>

# 7 保証とアフターサービス

## 1. 本製品には、本書の裏表紙に保証書がついています

お買い上げの販売店で所定事項の記入をご確認いただき、保証内容をよくお読みになって大切に保管してください。所定事項の記入がないと保証は有効となりません。その場合は、お買い上げの販売店へ記入をお申し付けください。

## 2. 保証期間中に修理を依頼されるときは

本取扱説明書をよくお読みいただき、本製品に異常がある場合は、お買い上げの販売店に保証書をご提示の上、修理を依頼してください。保証書の規定に基づき、無償、または有償で修理させていただきます。

## 3. 保証期間後に修理を依頼されるときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により本製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有償で修理させていただきます。

## 4. 補修用性能部品について

発売元では、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造終了後、最低6年間保有しております。

## 5. 本製品使用中、万一不具合により除毛等を行うことができなかった場合

そのことによる損失の補償、または使えなかったことによる付随的損害の補償については、その責任を負いかねますのでご容赦ください。

## ● 個人情報のお取り扱いについて

本製品の修理等に際してお預かりするお客様のお名前、ご住所、お電話番号等の個人情報は適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合、および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客様がお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客様のお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただく場合があります。

### 〈利用目的〉

商品・サービスに関わるご相談お問い合わせおよび修理の対応にのみ利用させていただきます。

### 〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する際、委託先に対しては発売元と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切に管理・監督いたします。

## ■ お問い合わせ先

発売元

エステティックTBC

〒163-0655

東京都新宿区西新宿1-25-1

お客様相談室 ☎ 0120-801-272

### 保証規定

本書は、お買い上げ日より保証期間内において、正常な使用状態で故障が発生した場合、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご覧ください。

1. 保証期間中、取扱説明書等の注意に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼の上、本書をご提示ください。お買い上げの販売店が無料修理いたします。
2. 保証期間中、無料修理等のアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または発売元へお問い合わせください。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
  - a. 本書のご提示がない場合
  - b. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - c. ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
  - d. お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障 および損傷。
  - e. 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障 および損傷。
  - f. 本製品以外の他の機器によって生じた故障および損傷。
  - g. 一般家庭以外（業務用として長時間使用するなど）に使用された場合の故障および損傷。
4. 下記の部品は消耗品です。保証期間内でも有料となります。  
・クーリングパック ・ゴーグル ・お掃除クロス
5. 本製品は持込修理の対象商品です。保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様のご負担となります。
6. この保証書は、本書に明示した期間の条件のもとにおいて、無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
7. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

# 保証書

持込修理

品名	家庭用光美容器	型番	HA-LB03-PR
製品名	HIKARI BEAUTY 3 PRO		
無料修理保証	対象部分	期間	
	製品 (ただし、消耗品および付属品は除く)	お買い上げ日から 1年間	
※ お買い上げ日	年 月 日		
※ お客様	ご住所 〒  お名前 _____  様		
※ 販売店	住所・販売店名・電話  ご購入日の分かる明細を貼付 または本保証書と併せて 保管してください。		

●販売店様へのお願い

必ず※印欄をご記入・ご捺印の上、お客様へお渡しください。

●お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名が記載されているかお確かめください。  
万一記載がない場合は、ただちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
2. 所定記入欄が空欄のままだったり、お買い上げ日・販売店名が分かるレシート・明細書が  
ございませんと、本書は有効とはなりません。
3. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
4. 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、お買い上げの販売店、  
または発売元に直接お問い合わせください。

発売元

エステティックTBC

〒163-0655

東京都新宿区西新宿1-25-1

お客様相談室 ☎ 0120-801-272